

問 2 1 最後に市の広報活動ご意見等ございましたらご記入ください。

- 情報の入手は紙による習慣から脱皮できないまま生活してきた、時代に乗り遅れた人達が多いことへの配慮が必要と感じている。
- 市政日より、テレビ、新聞、ソーシャルメディアの中で市民に市の行事、ニュースを伝えるのは「市政日より」がダントツであろう。紙媒体は繰り返し読むことができ、手軽に保管できる。記事は、載せる必要のあるものだけにしぼり、今以上に広告を載せ、紙面を更に読みやすく工夫する。
- NHK北九州放送局のテレビニュース番組（18:30～19:00）に、市の担当者が出演し、市の行事等をPRする。
- 新聞各紙の北九州版記者に区の行事等を配信。
- 広報活動自体は必要なことだが、その効果を検証するべき。例えば選挙時の広報、投票率は上がっているか？広報活動も公金。無駄使いになってないか？
- 北九州市以外への広報、PRが少ない、人口増加に繋がるPR活動が必要。
- 私はたまたま職場に市政日よりが届いていたので知るキッカケになった。初めて若者ワークブラザやマザーハローワーク等で色々なセミナーがあることを知り、高校生のときに知っていたら人生が幅広くなり、また違う人生だったのかも思えないと思った。情報を知っているか知らないかで大きく変わってくるので、学生時代から北九州市の情報は市政日よりで知って学ぶのもいいのではないかと思う。SNSやネットの情報は、情報量が多すぎるので、冊子に要点をまとめてあるとわかりやすい。SNSで発信していくのであれば、福岡市のように単語を入力したら聴きたいことを教えてくれるチャットボットなどわかりやすくおもしろく興味をもつ仕掛けが必要。市から一方的に発信するだけでなく市民が探しているもの・求めているものに答えるのも面白い。
- 今回のアンケートで自分が本当に情報を取る努力をしていなかったことが良くわかった。情報は自分から探さないと入ってこない事もわかった。
- 最近ではSNSばかりだが、私はいっさい持っていない。情報源はTVと市政日より。紙媒体はもはやレドデータなのかもしれないが、私のような人たちが結構いるのでは？今後も市政よりを発行してほしいと思っているが、そのうち「市政よりはネットでご覧ください」なんてなるのかなあ〜。ラジオ番組に関しては、聞き逃すとどうにもならない。TVだと録画できるのでTVでの広報がいいと思う。
- 「自分がすごいぜ」ということばかりではなく、きちんと暗い面も隠さず知らせ、それを教訓により良くするための方策をどうとっているかも広報してほしい。
- 市政テレビは毎週日曜日17時25分から放映分を、また定例市議会開会中はケーブルテレビで放映されている質疑応答を、また毎日、NHK19時前の地域ニュースで北九州の現状を見ている。しかし、ラジオ番組は今まで一度も聞いたことがない。また、市公式SNSについても今回のアンケートの件で初めてパソコンで検索し知った。各区とも特色のある行事など工夫を凝らして紹介してあった。PCを開けば興味あるものもあると思うが、まずはいかにしてPCを開いてもらえるかが大きな問題である。例えばテレビ、ラジオでPRするとともに市政よりでも「市公式SNS」をPRしてはどうか。また、継続してラジオ番組を聞いてもらうには番組の中でクイズを出し、応募するには「キーワードが必要」にすればどうか。抽選で当選者には各区に関連のある、例えば若松区ならカップのキーホルダーなどを賞品にするとか。文語ゲームを取り入れるとか。
- 誌面に広報の方の努力や工夫が見られる。
- 今年5月にiPhoneを購入した。初心者。今までにSNS、LINE、Twitter等の言葉は知っていたが、利用したことはなかった。今、iPhoneを勉強中。「これからの通信方法に慣れなくてはいけない」そう考えている私のような65歳以上は多いと思う。そのような世代はまだまだ書面による情報受信が一番安心する。今後も市政日より等の書面による広報をお願いする。

- 学校の教育ビデオのように淡々と流れるTVなので、この歳になってから関心があるものは見るようになったが、現在の中1の娘、小5の息子は横にいても見向きもしない。一部アニメーションを入れてみたり、時には福岡県出身の有名人などを出してみるのも若い人に関心やナカミが入ってくるのでは？市政だよりも代り映えのないレイアウトなので、時代に合わせて変化はしていないのかなと毎回見ながら感じる。
- 市民センターなど利用する習慣のない、例えば農村部に住んでいるような人は（自分も含めて）市からの情報はほぼ市政だけのみと思う。目は通すが、イベントなどはつい忘れてしまう。NHKのローカルニュースなどで流してもらえると嬉しい。市の頑張っているところは勿論、課題などもう少し発信してもらって市民が「みんなで北九州を私たちのまちとして自分の街」として関心を持ち、よりよくしていけるような活動をするようになればと思う。
- 市政だよりを隅から隅まで見ている。「北九州の観光」など、定期的にもっと載せて欲しい。
- 市政だよりの発行を月2回から1日・1日・2日・2日の3回の体制にしてはどうか。広く市民への情報発信になるのではないか。
- 市政だよりが広く知られている情報源だとおもうが、町内会に入っていないと、届かない。届ける方法はないか。
- 「市政だより」を月2回読んでいます。内容を福祉や観光、イベント等もっと身近な情報を分かりやすく届けてほしい。
- 市政だよりは見やすいし、色分けしてあり分かり易い。HPは最近知りたいことがあり久しぶりに見たが、以前より見にくく感じた。
- 市政テレビ番組で広報活動をするのであれば、時間帯をもう少し考える必要がある。大変だとは思いますが午後であれば21時まで朝は7時か8時頃の時間であればと思う。
- 仕事をしているため、テレビやラジオは視聴する機会が少なくもっぱら市の広報に関しては、市政だよりで知ることのみである。その為か、紙面に掲載されない記事は知ることができない現状。市政だよりにより北九州の市広報活動の一環としてテレビやラジオの番組の放映時間などを掲載してはどうか？今回初めて広報番組を見て北九州にいて知らない事ばかりであり、面白い番組だと思った。人や観光したいところ、もっとしりたいと思った。いかに私が北九州に60年以上住んでいて市に関心を持たなかったが認識できた。友人、知人にも教えたい。
- テレビはもう少し減らしても良いかもしれない。
- テレビやラジオでいつどのような内容の番組があるのか、市政だよりなどで周知すれば興味のあるものをあらかじめチェックできると思う。番組を視聴するために、日常生活のパターンを変えるのはなかなか難しく、やはり録画・録音にならざるを得ない。内容も分からないまま録画・録音をする気にはならない。内容は悪くない。短い時間で良くまとめられている。あとは、どれだけ多くの人にアピールできるかが大事。
- 北九州市の魅力外国人に紹介させる、という番組については、不快感を抱いた。北九州ってスゴい！を伝えるためにわざわざ外国人を起用する意味とは？外国人ではなく、北九州市民でも、内容が魅力的であれば充分であると思う。
- 住民税の使い道の内訳をわかりやすく公開してほしい
- あっぱれ、すきっちゃん北九州は、毎回録画して見ている。ラジオは、車に乗った時、時々聞くぐらい。
- 市政ラジオは、車の運転中以外は家で聴くことはまずない。テレビに比重を置いた方がいいと思う。
- 今回のテーマが「市公式SNS」なので、やはり、見てもらう、利用してもらうPRが一番重要であると思う。
- インスタグラム、ツイッター等理解できない人も多いと思いますもっと分かり易く説明する必要があります
- SNSの活用を広報してほしい。
- 市がSNS発信をこんなにしていないことを知らなかった。LINE、Twitterを今後利用したいと思う。動画は見るまでと見てからの印象が全く違った。市が発信しているもの動画は、面白くないんだろうという先入観があった。ただドラマ仕立てはいいが「あっぱれ！北九州」という題名で、見たい！とは思えないし、忍者と殿様の必要性を感じない。
- 電車や駅での広告をもっと活用して欲しい。

- 自然と目に入り易い目立つ方法でPRしてほしい。ターゲットが明確な場合は、直接ターゲットに届くような工夫が必要、漫然と情報を垂れ流しするような手法は、税金の無駄遣い。広報活動は、伝える側の熱意がないと相手には伝わらない。
- NHKやKBCのニュースの1コーナーとして、毎日、繰り返しPRしてほしい。
- 市政だよりにテレビやインターネット放送時間、視聴者へのプレゼント紹介など告知すると良い。放送の存在自体を知らない方が多いと思う。
- 特定の放送番組だけではなく全番組にCMで放送してほしい。
- まずは大人より、子どもたちに興味を持たせることが必要。子どもが、xx番組やxxサイトを見たいと言えば、大人も一緒に見ると思う。そこで、親子の会話と共に、北九州の情報を共有できる。それが続けば、子どもが言わなくても興味を持った大人は継続して見てくれるはず。
- まだまだ（市公式SNSの）知名度は低いように思う。もっと目にする機会が増えるような工夫が必要。地元企業とコラボする、ショッピングモール内でイベントを企画する等、お金がかかるかもしれないがやってみる価値はある。子育て世代が一番、広報活動への興味は持っていると思う。
- 中高年の人たちに親しみやすい場所（病院やスーパーの休憩スペース等）に市のチラシ等を配布してはどうか。
- 市の広報活動がいまいち伝わって来ない。市民に本気で知らせようという気があるのかわからない。ただやってるといっ感じがする。
- 北九州市の情報より福岡市の情報のほうが入ってくる。それくらい福岡市が発信量と市民に対しての施策が多いと思う。
- 町内会加入者で地域の街灯代を負担しているが、周知されていないため町内会になにもしてもらっていないから加入しないという方がいる。町内会の活動の時間的負担分ばかりが目立つので良い部分も周知が必要だと思う。
- 室内で仕事をしているので、今回のアンケートの内容を読みながらほとんど気にかけていない事ばかりの質問ばかりだったので困った。私たちのように仕事で市の行っていることを知る機会が少ない方も多いのでは？
- 「便利情報」や「概要冊子」など、もしかしたら目にしてないが、正直ピンとこない。市の広報はあまり目に入っていないのが実情だと思う。暮らしていくうえでの情報と、例えば市外の友人などが来た時に案内する「観光ガイド」的なものがあればうれしい。
- こんなにも複数のラジオ・テレビ番組で広報活動をしていることを知らなかった。この事を市政だよりで頻繁に市民に知らせ、市政に関心を持ってもらえれば良いと思う。  
市政だよりはすべて読む。ページ数や文字の大きさ。配置なども大変見やすく読むのが楽しみ。イベント情報が最終ページからになったときは驚いたが、今ではそれが当たり前になっている。
- SNS広報については、全く知らなかったので、今後機会があれば活用したい。ラジオはほとんど聴く機械や習慣がなく、テレビも毎日決まった番組しか見ていない。また、見る時間も少ないため、市の広報活動について知らなかった。市の情報をしりたいときは、スマホの検索などで活用している。
- 日曜日の笑点の前に放送されている市政番組はよく拝聴している。引き続き、市の広報活動の一環として未永く放送してほしい。
- 今回のアンケートで、北九州市がいろいろな広報活動をしていることを知った。早速みたいと思います。
- 市政だよりは読む。ネットに関しては、自分から求めて開かないと、情報が入らない。これを機に、LINEを登録しようと思う。

## IV全体考察

「市政テレビ番組を一つでも見たことがありますか」との問いに、38%の人が「見たことがない」と回答している。その理由として「番組自体を知らないから」が最も多く53%であった。なお、番組を見たことがある人は、いずれも7割以上の人が「おもしろい」、8割以上の人が「役に立つ」と、高評価である。

また、ホームページなどでの市政テレビ番組配信については、83%の人が「見たことがない」と回答しており、その理由として「ホームページで配信されていることを知らないから」が最も多く62%であった。

市政ラジオ番組は「聴いたことがない」と83%の人が回答しており、そのうち約半数（58%）が「ラジオを聴く習慣がない」と回答している。なお、「聴いたことがある」と回答した人は、いずれも9割以上の人が「役に立つ」と評価が高かった。

市政テレビ番組、市政ラジオ番組とともに番組を視聴した方々からの評価は高いが、番組自体を知らない人の割合が高いことから、魅力的な番組づくりとPRをより積極的に行っていく必要がある。

SNSの利用はLINE、Facebookが約7割に使用されており、Twitter、Instagramは約2割程度となっている。市公式SNSアカウントではいずれも約2割の認知度だったため、PRをより積極的に行いフォロワー、友だち登録を増やす取り組みを強化する必要がある。

広報活動全般的なことについて、関心のあるテーマ、広報を充実してほしいテーマは「観光・イベント」（63.6%）が最も高く、娯楽的なテーマのニーズが高く、次いで「健康・医療」（62.0%）、「防災・防犯」（44.2%）、「福祉」（34.9%）と生活に身近なテーマのニーズが続いた。

今後、さらに充実してほしい広報手段について、「市の広報誌(市政だより)」（70.5%）、「市政テレビ番組」（41.1%）と既存の広報媒体のニーズが上位であった。また、新たな広報媒体として、「電車やバスなどの車内広告」（17.1%）、「駅や銀行などのモニター広告」（13.2%）などのニーズも一定数あった。

以上の結果をふまえて、新たな広報媒体を含め、各広報媒体を総合的に活用し、より効果的・効率的な広報ができるように検討していきたい。



【市政モニターに関すること】

広報室広聴課（TEL：582－2527）

【アンケートに関すること】

広報室広報課（TEL：582－2236）